

公 表

第 5 3 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

1. 競技時間

標準時間 1 1 時間 3 0 分

- ・モジュール 1 = 6 時間 3 0 分
- ・モジュール 2 = 3 時間 0 0 分
- ・モジュール 3 = 2 時間 0 0 分

打切時間 1 1 時間 4 0 分

※休憩時間 3 0 分間含まれず

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕 様 (モジュール別、指示事項)

別紙 2 のとおり

4. 注意事項・支給材料及び工具

別紙 3 のとおり

(別紙 1)

作 業 説 明

1. 総作業時間は 1 1 時間 3 0 分とする。(休息时间 3 0 分は別途とする)
2. 課題の作成はモジュール形式とする。3 工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
3. 作業台及び作業エリアは常に整理整頓すること。
4. 使用工具、工法は指示事項を除き、自由選択とする。スケール、差し金等、計測用具は J I S 規格品とする。
5. 支給された材料を確認すること。異常のあるときは競技スタート前に申しでること。
6. 持参工具の展開は会場下見の時にやる。(付添人も可)
7. 引き型は図面寸法を採用する。
8. モールディング貼り付け材料は自由とする。ビス止め併用可(有機接着剤は禁止)
9. 貼り付けた、モールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
- 1 0. 明記された寸法は総て審査の対象とする。
- 1 1. 置引き作業時の引き型洗水の容器、容量は最小限度にとどめること。
- 1 2. 石膏ボード切断加工及び置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。板を足したり、持ち込みは不可とする。
- 1 3. 石膏ボード切断時は安全のため保護用手袋を着用すること。
- 1 4. 課題の下地は平ボードとする。寸法は 1.820×1.820 とする。
- 1 5. 作業エリアの床養生は主催者側で行う。
- 1 6. モールディングを切断するとき、指定寸法にあわせたまま、両側を切断できるように作成した箱定規(留め型)は使用不可とする。片方を切断した後、スケール、差し金等で寸法を測り、箱定規を移動させてから反対側を切断すること。

左官職種 - 1・2 -

(別紙2)

仕 様 (モジュール別、作業内容と説明)

モジュール1

施 工 日 : 1 日 目 「 1 2 月 5 日 (土) 」

施工時間 : 6 時間 3 0 分 (8 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0) (1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 4 0)
(午前・午後、休息時間を 1 0 分間取ること)

作業内容 : 袖壁部は軽量鉄骨を正面壁に取付け石膏ボードを切断加工して貼付ける。角部はコーナ一定木を取付ける。
作製した引型を用いて置引き作業を行う。できあがったモールディング A、B、C、を切断加工する。

作業説明 : 中心墨、陸墨は各自で出すこと。陸墨は課題中心部の床から 1.000 mm 上がりの位置を基準とする。

- ・ 袖壁部は支給した材料を用いて図面どおりに作製する。
- ・ 袖壁部作製時、軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビス間隔は 200 mm 以内とする。
- ・ 打ち付けたビスの頭は石膏ボード表面と平らか深さ 1 mm 以内とする。
- ・ 袖壁最上部のコーナ一定規は持参した両面テープで取付ける。
立てのコーナ一定規はシーリング剤もしくは塗り材を用いて取り付ける。
- ・ 仕上がったモールディングは指定寸法に切断加工して取り付けができる状態にすること。
- ・ 置引きの下地に使用する発泡スチロール (1.820×450×10) を支給。
必要であれば使用する (持込み不可)
- ・ モールディング、A・B・C の取付け墨 (袖壁部分は不用) とテープ別れ部分の墨出しは 1 6 時 4 0 分までに完了すること。
- ・ 貼り付け墨交差部は 10~30 mm 長く残すこと。
- ・ モールディング A、B、C の引き型は現地で支給する方眼紙と鉄板を用いて作製後、持参した木型に取付け完成させること。
- ・ 引き型は作業終了時間後、すべて提出すること。
- ・ 墨出し作業において型板、型紙等の使用を禁止する。
(芯墨、陸墨を基に差金、スケール、スチール定規等を用い、実測すること)

左官作業 - 1・3 -

モジュール2

施 工 日：2日目「12月6日（日）」

施工時間：3時間00分（午前8：50～12：00）
（休息時間を10分間取ること）

作業内容：袖壁の塗り仕上げとモールディングの貼り付け作業。

作業説明：袖壁部は既調合材料（Bドライ）を用いてかな鏝仕上げとする。
前日作成したモールディングを指定寸法に貼り付けて完了させる。

- ・ 接合部は焼き石膏を充填し、角部は正確に仕上げること。

モジュール3

施 工 日：2日目「12月6日（日）」

施工時間：2時間00分（午後13：00～15：00）
（休息時間なし）

作業内容：貼り付けたモールディングA・Bの内壁とテープ別れ部を鏝塗り仕上げとする。

作業説明：モールディングA・Bの内壁は自然素材を用いて四季（春夏秋冬）のいずれかを表現すること。

- ・ テープ分かれ部分は支給された既調合材料（Bドライ）に持参した着色剤を混ぜて木鏝にて粗面仕上げとする。
- ・ できあがった製品を持ち込んで取り付けることは禁止する。
- ・ 着色、工法は自由とする。
- ・ 塗り材（自然素材）を練るとき、攪拌機は使用せず、レンガ鏝等を用いて手練りとする。

(別紙3)

注意事項

1. 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
2. 電動工具（丸のこ）の使用を禁止する。
3. 石膏ボード切断時は保護用手袋を使用する。
4. 安全規則を守ること。けがをした者は競技委員で協議のうえ対応を決定する。
5. 休憩時間及び作業終了後は速やかに参加票を提出する。
6. 作業台は型枠用として市販されている樹脂合板を使用する。（1,800×900×12）
7. 置き引きに使用するアルミ製定規は支給するので持ち込み不可。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可とする。（あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は禁止する）
8. モジュール3で使用する既調合（Bドライ）は当日係員が支給する。
9. 袖壁作製に使用するビス類は当日支給するが持参してもよい。
10. 各モジュールとも時間超過及び作業説明違反をした場合は減点の対象とする。
11. スタット固定用のスペーサーを支給する。使用、不使用どちらでもよい。
12. コーナー定規取付材料は接着剤もしくは塗り材とする。持参可。

支給材料・工具・部材

| 番号 | 品 名 | 規 格 | 数量 | 備 考 |
|----|----------|---------------------|-----|-----------------|
| 1 | 焼き石膏 | 吉野石膏A型25kg入り | 2袋 | 桜印とタイガー印同製品 |
| 2 | Bドライ | 既調合材料 | 適量 | |
| 3 | アルミ製定規 | 1,800mm×60mm×25mm | 2本 | 持ち込み不可（置き引き用） |
| 4 | 脚立 | 小（アルミ製） | 1個 | |
| 5 | 取り舟 | 小 | 1個 | 残土用 |
| 6 | バケツ | 18リットル | 2個 | プラスチック製 |
| 7 | 作業台 | 1,800mm×900mm | 1台 | モールドイング作製用 |
| 8 | 置き台 | 1,800mm×900mm | 1台 | モールドイング保管用 |
| 9 | ミニ万力 | | 1台 | 鉄板加工用 |
| 10 | 鉄板 | 450mm×150mm×0.4mm | 1枚 | 引型作製用 |
| 11 | 発砲スチロール | 1,800mm×450mm×10mm | 1枚 | 置き中込め用 |
| 12 | コーナー定規 | 1,250mm（天井用） | 1本 | L型コーナー6×25両面テープ |
| 13 | 〃 | 1,825mm（垂直部） | 2本 | かど定木D-6×20 |
| 14 | コーナー取付材料 | | 適量 | 袖壁垂直部の取付け材料 |
| 15 | ランナ | 77mm×280mm | 2本 | 袖壁組立て軽量鉄骨材 |
| 16 | スタット | 75mm×1800mm | 2本 | 袖壁組立て軽量鉄骨材 |
| 17 | スペーサー | 75mm | 10個 | スタット固定用 |
| 18 | 石膏ボード | 1,820mm×910mm×9.5mm | 1枚 | 袖壁取付け用 |
| 19 | 袖壁組立用ビス | 軽天ビス 3.0mm×20mm | 適量 | 石膏ボード取付け用 |
| | 〃 | 4.0mm×14.0mm | 〃 | ランナスタット締結用 |